

## 「伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を」

阪神・淡路大震災から 22 年の時間が過ぎました。「1・17 ひょうご安全の日宣言」を紹介します。

阪神・淡路大震災から 22 年が経った  
私たちは国内だけでなく 世界の多くの人たちにも  
この教訓を知ってもらいたい 活かしてもらいたい  
そのように願って 伝え続けてきた  
2 年前に国連防災世界会議が開催された  
阪神・淡路大震災の教訓は 仙台防災枠組にもひきつがれ  
減災社会実現のための 人類の知恵となり  
創造的復興は 世界の防災の目標となった  
でも 地球の温暖化はさらに進み  
台風が北海道や東北でも大暴れするなど  
経験したことのない風水害の多発・激化に驚くばかりだ  
隣国の台湾や韓国でも大きな被害が出た  
熊本地震では 2 回も立て続けに起こった震度 7 を経験し  
引き続き 震度 1 以上の余震が 4 千回も起こり  
人びとは 長い間 恐怖にさらされた  
鳥取では 歴史のある街並みが地震で被災した  
災害は新たなステージに入ったのだ  
次なる災害に備えるには  
もっと対策を進めなければならない  
油断して他人事と思えば つぎに被災するのは自分たちだ  
災害文化を豊かにして 安全 安心社会に向かうのだ  
伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を  
震災の教訓は すべての災害に通じる知恵だから

2017 年 1 月 17 日

ひょうご安全の日推進県民会議

左記の「1・17ひょうご安全の日宣言」は、同日午前11時50分から神戸市の「人と防災未来センター」の慰霊のモニュメント前で開かれた「ひょうご安全の日 1・17のつどい」において宣言されたものです。近い将来、子どもたちが直面する可能性の高い「南海トラフ大地震」—大切な子どもたちを守るためにそして大切な人の命を守るために、地域、学校、家庭における防災教育は必須です。避けられない自然災害。できることの一歩を踏み出さねばなりません。

1月18日には、6年生が上記「人と防災未来センター」に出向きました。東日本大震災ドキュメンタリーと併せ、当時の様子を「1・17シアター」で実感し、厳しい現実の中で生き抜いてきた人々の強さを多くの資料から学びました。今月31日、6年生が各教室で報告してくれます。また、5年生は神戸学院大学「社会防災学科」で学ぶ学生さんから「防災ゲーム クロスゲーム」を通して、被災者になった時のことを想定しながら活発な議論を繰り広げてくれました。現在校長室前には、震災当時神戸におり、毎年1月17日午前5時46分の慰霊祭に参加している教員が子どもたちのために資料を作成し、今年は祈りの竹筒と併せて展示しています。どうぞ、ご家庭でもぜひ話題にさせていただき、みんなで「防災（減災）」を考えましょう。

## お知らせ

「4月11日」は本校の創立記念日です。本市においては「東大阪市立学校園の管理運営に関する規則」に基づき、「創立記念日」は「休業日」と定められています。多様な教育活動が求められる現状にあって、授業時数の確保のため、今年度本校は

- ・ 創立記念日を授業日とする
- ・ 第2学期始業式を8月31日とする
- ・ 「朝の学習」を授業と捉える（評価の対象となる） 等

全学級の教科別授業時数カウントと併せ、昨年度末に保護者の皆様にお知らせいたしました通り、試行ならびに検証を試みました。その結果、授業時数の確保につきましては、学習指導要領に定められている時数をクリアできることから、

平成29年度「創立記念日」は、

上記規則に基づき「休業日」といたします。

また、学校行事については、平成31年度から開始となる本市「小中一貫教育」に向け、現在、英田中ブロックにおいて検討を重ねているところで、来年度以降、必要に応じて順次お知らせいたしますので、「学校だより」「学年だより」等にご留意いただきますとともに、各種PTA行事、懇談会等へもより積極的にご参加いただき、ご意見も頂戴できたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。